



安全運転を呼びかける富田会長（中央）

TOPIC 9
10
8
交通事故のない
安全な町を目指して

白糠ライオンズクラブ街頭啓発

白糠ライオンズクラブ（富田忠行会長）は、10月8日のライオンズデーに合わせて、恋問館駐車場で交通安全街頭啓発を行いました。

この日は、会員4人がドライバーに安全運転を呼びかけるとともに、飲酒運転根絶のチラシとポケットティッシュ、鍛高ラムネを入れた袋を100個配りました。

富田忠行会長は「国道38号で事故が多発していたので、安全に運転してほしいという思いで実施しました」と話していました。

TOPIC 10
10
9
児童が山や木の手入れを学ぶ

令和3年度第1回ふるさと未来塾

今年度1回目のふるさと未来塾が社会福祉センターや和天別山林を会場に開かれ、参加した児童18人が除伐見学や枝打ち体験をしました。

社会福祉センターで開講式が行われた後、北海道指導林家の峯田悟さんが所有している和天別山林に移動。峯田さんは山や木の手入れの仕方、枝打ちで使うのこぎりの使い方などを説明しました。武田姫奈さん（白糠小6年）は「木を切るのは初めてで大変だったけれど、とても楽しかったです」と笑顔で話していました。



のこぎりを手に枝打ちをする武田姫奈さん

TOPIC 11
10
10
作って楽しい夏休み工作

陽向ぼっこ「阿寒湖畔に遠足」

「学生無料塾」や「こども食堂」などを行っているNPO法人陽向ぼっこ（儀同一義代表理事）は、塾に通っている小学6年生を対象に遠足事業を行いました。

遠足事業は「一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構」の助成金を活用して実施。小学生10人と保護者、こども食堂のスタッフが参加し、阿寒湖畔で楽しいひとときを過ごしました。儀同代表は「コロナ禍で実施は悩みましたが、何事もなく、子どもたちの笑顔も見れたので、やってよかった」と話していました。



遊覧船に乗ったり、マリモを観察したりして楽しみました

TOPIC 7
10
7
地域の歴史や文化を学ぶ

白高生「羊まるごと研究所」見学

白糠高等学校では、1年生22人が「総合的な探究の時間」の授業で「駒踊り発祥の地」や「フンペリムセ発祥の地」「羊まるごと研究所」などを見学。パンクル海岸では海食崖の地層や砂州を観察するなどし、地域の歴史や文化を学びました。

松田みづきさんは「羊がとてもかわいかったです。今まで知らなかった白糠の歴史や文化を学ぶことができて良かったです。いい勉強になりました」と話していました。



羊まるごと研究所では「羊の毛刈り」を見学しました

TOPIC 8
10
8
アイヌ民族をテーマ
映画の進捗状況報告

映画制作関係者来町

白糠町をロケ地として撮影される「アイヌ民族をテーマにした映画」の制作関係者が役場を訪れ、棚野孝夫町長と白糠アイヌ協会の天内重樹会長に、これまでの経過と進捗状況などを報告しました。

役場を訪れたのは、映画を企画した合同会社プロテカ（東京都新宿区）の嘉山健一代表、脚本家の尾崎将也さん、映画監督の中尾浩之さん、映画制作会社ピクス常務取締役の平賀大介さんを含めた7人。

映画は江戸時代の北海道を舞台に、人間のたくましさや美しさを描いたフィクション作品。監督はNHKの歴史教養番組「タイムスクープハンター」を担当した中尾浩之さんが務めることに決まりました。尾崎さんの脚本は初稿が完成しており、それをもとに今後、キャストが決められていきます。映画の完成は当初より1年半ほど遅れ、令和5年9月を予定しています。

嘉山代表は「ロケ地として協力していただく白糠町のまちづくりにも生かせる映画にしたいと思っています」、尾崎さんは「アイヌ民族をテーマにした映画は過去にもあったと思いますが、エンターテインメント作品としては、おそらく初めてだと思うので、日本の映画の中でも意義のある作品になると思っています」と話していました。

中尾監督は「白糠町の美しい風景とアイヌ民族のすばらしい文化を映像にしたら、日本だけではなく世界中の人に見てもらえる映画になると思います。魂を入れて映画制作に挑みたい」と意気込みを語りました。



1/役場を訪れた制作関係者。右が嘉山代表 2/右から脚本家の尾崎さん、中尾監督、棚野町長、天内会長、平賀さん、嘉山代表 3・4/町内のロケ候補地を見て回る制作関係者たち